

かすみがうら

第95号
 <毎月1日発行>
 発行所
 霞ヶ浦医療センター
 かすみがうら編集局
 〒300-8585
 土浦市下高津2-7-14
 Tel 029-822-5050
 Fax 029-824-0494
 E-mail & Web Site
 kasumi@kasumi.hosp.go.jp
 http://www.hosp.go.jp/
 -kasumi/

新型インフルエンザ当院の対応

呼吸器科医長 籠橋 克紀

新型インフルエンザに関する報道が、連日マスコミで取り上げられております。新型インフルエンザに関する状況等は日々刻々と変化しており、この原稿は、4月30日の時点で作成しておりますが、皆様方の手元の届く頃には、新型インフルエンザに関する状況が大きく変化している可能性があります。以下に、現時点における当院の新型インフルエンザ対策について記載させていただきます。

まず、インフルエンザウイルスについてご説明させていただきます。人と動物に感染するインフルエンザウイルスは、A、B、Cの3種類に分けられます。B、C型は動物には存在せず、A型ウイルスは人に入り独自の進化をとげたとされています。インフルエンザウイルスは、エンベロープと呼ばれる膜を被っており、エンベロープの外側に、HA(赤血球凝集素)蛋白質とNA(ノイラミニダーゼ)蛋白質という2つの糖蛋白質が存在して

います。A型ウイルスで、HAの亜型が15種類、NA亜型が9種類発見されています。20世紀以降に人の中で流行したものは、H1N1、H2N2、H3N2の3種類ですが、鳥にはすべての型が存在し、豚にはH1N1およびH3N2が検出されています。この亜型の中で、インフルエンザウイルスは常にわずかな変化をしており、これを連続抗原変異あるいは小変異とよびます。同じ亜型の中で連続抗原変異を続けながら、A型インフルエンザは毎年流行を繰り返していきますが、突然大きく変異することがあり、不連続抗原変異あるいは大変異と呼び、これにより新型ウイルスに変異します。

これまでH5N1高病原性鳥インフルエンザによる新型インフルエンザの流行が危惧されておりましたが、今回、ブタインフルエンザから新型ウイルスが発生し、人へ感染をおこすようになり、流行したため、社会問題になっております。

ブタインフルエンザはA型インフルエンザウイルスによって引き起こされる豚の呼吸器疾患であり、これまで豚でアウトブレイクを定期的に行っていました。今回流行するまで、3人以上に対して持続的に広がったことは報告されておりましたが、今回問題になっておられるブタインフルエンザA型ウイルス(H1N1)は、これまで知られていない新型ウイルスであり、人から人への感染をおこしています。

メキシコを中心に広がった新型インフルエンザは4月29日までに北米、中米、欧州などの計10カ国に拡大しており、現在のところ勢いは衰えていません。このため世界保健機関(WHO)は警戒水準(フェーズ)を4月27日に3から4へ引き上げておりましたが、地域レベルで持続的な人から人への感染が確認されたことを受け、同月29日には、世界的大流行(パンデミック)が差し迫っていると表明し、警戒水準(フェーズ)を4から5へ引き上げました。最悪のフェーズである6(パンデミック)に極めて近い状況であると判断されたためです。国際的な人の移動などの制限が一層強化されるため、世界経済をはじめとする各分野に深刻な影響が広がるものと思われまます。そのような影響を与えても、WHOは国際社会に強い警告を発する必要があると判断しています。

日本国政府は、麻生首相を本部長とする対策本部を設置し、検疫等を強化することでウイルスの国内侵入を阻止する方針です。さらに国内進入された場合を想定し、臨時休校、イベントや集会の中止、外出制限などを勧告することで感染拡大を防止し、抗ウイルス薬を確保し、発熱外来を設置し、入院施設を整備することなどについて協議がなされています。

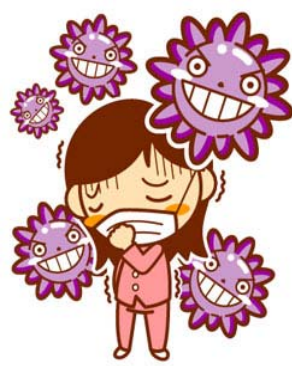
当院におきましても、新型インフルエンザウイルス発生時の対応につきまして、これまで感染対策部会、感染対策委員会などにて新型インフルエンザ対策を協議して参りました。現時点(4月30日)では、日本国内に新型インフルエンザの発症者が出ていないため、行政の方針に従い、メキシコ、アメリカ合衆国、特にカリフォルニア州(サンディエゴ、インペリアル)やテキサス州(サンアントニオ)に渡航歴があり、かつ発熱(38℃以上)などのインフルエンザ様の症状がある方は保健所の発熱相談に問い合わせをいただいております。

今後、国内に新型インフルエンザの患者様が発生した際には、行政の方針に従い、かかりつけの患者様であっても、まずは地域に設置される発熱外来を受診していただき、新型インフルエンザウイルスの感染の有無について診断していただく予定になっております。このような対応をとらせていただいているのは、新型インフルエンザに感染している疑いのある患者様が直接来院されますと、その方が新型インフルエンザであった場合、その患者様に接触した全ての他の患者様と病院職員が隔離の対象になってしまつたため、病院の機能が停止し、感染を拡大させてしまつと考えられるため、行政よりこのような指導を受けております。

さらに新型インフルエンザ感染が拡大し、日本国内に新型インフルエンザが蔓延するパンデミック期になった場合は、地震などによる大規模な天災時と同様に日本中が混乱し、災害時の医療と同様に考え対応することが必要になるものと予想されます。このような状況に陥った際には、当院は新型インフルエンザ治療の協力病院でありますので、旧西1階病棟等の現在利用していない施設を解放して、入院患者の受け入れを行い、通常診療を一時停止し、当院の全職員が一丸となって新型インフルエンザ治療に対応する方針であると当院の幹部会議等で決定しております。(すでに院内には、茨城県より支給された約300着の個人防護具・PPEも準備しております。)

新型インフルエンザの病原性や国内における流行状況、行政の対応などの不確定な要素が多いため、今後の当院の対応に關しましては、流動的にならざるを得ません。このため、適宜、臨時の感染対策委員会等を開催し、流動的な状況を慎重に見極めながら、適切な対策について協議していくことになっております。

新型インフルエンザ対策につきましては、行政の指導に従い、当院の全職員が一丸となつて治療に対応する方針です。現時点では、発熱などのインフルエンザ様の症状を呈しており、海外渡航歴のある患者様の受診に際し、ご迷惑をおかけすることになります。新型インフルエンザに対する当院の取り組みにご理解をいただき、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。



薬剤科より
 抗インフルエンザウイルス薬
 試験検査主任 後藤 範夫
 について

抗インフルエンザ薬とはインフルエンザウイルスの増殖を抑えてインフルエンザの治療が行なえる薬のことです。現在、日本で医師の処方により投与される抗インフルエンザ薬は、3種類あります。A型ウイルスが持つているM2というタンパクに作用することでインフルエンザウイルスの遺伝子が細胞内に送り込まれるのを阻止し、抗ウイルス作用を発揮する「アマンタジン(シメトレル)内服薬」と、ノイラミニダーゼという酵素の作用を阻害して細胞内で感

染増殖したウイルスが細胞外に放出されることを抑制して、A型、B型どちらにも抗ウイルス作用を発揮する「オセルタミビル(タミフル)内服薬」と「ザナミビル(リレンザ)吸入薬」です。3種類の薬剤ともに、治療を発症後48時間以内に開始した場合に抗ウイルス薬治療の効果が最もあることがわかっています。

現在、連日報道されている新型インフルエンザA(H1N1)ウイルスに対しては、「アマリジン(シメトレル)」は有効でないと考えられ、ノイラミニダーゼ阻害剤である「オセルタミビル(タミフル)」と「ザナミビル(リレンザ)」のみ効果があります。どちらのお薬も、季節性インフルエンザと同様に5日間投与する事が推奨されています。



企画課より
「春の池掃除」

庶務班長 伊藤隆夫

午前9時、事務長以下総勢12名の企画課精鋭作業部隊が車庫前に集結し、道具を携えいざ正面玄関前の池に到着、いよいよ作業(戦闘)開始です。まず、3台のポンプで濁った池の水を汲み上げ、浅くなった池の中に『長靴を履いた猫』ならぬ、長靴を履



いた男どもが入り、池の鯉の捕獲作戦が始まりました。池の中を泳ぎ回る鯉を網ですくい上げては子供用プールに移していくのですが、ある程度水深があるうちは鯉の方が動きが素早く、差し出した網をすり抜けたりジャンプして逃げたりと、なかなか思うようにいきません。しかも、池の中央部分が深みになっていて、それが分かっているにもかかわらず、それが分かっているにもかかわらず、その餌食となつてびしょ濡れになっているのです。はたして、今回の犠牲者はいったい誰だ?と心ひそかに楽しみにしていたところ、約1名が足を滑らせ見事に転倒してしまいました。さて、そうこうしているうちに水深も浅くなり、どうにか鯉をすくってすくい上げ、水を抜いたらポリッシャーやグラインダーなどで池の底や壁にこびり付いているヘド口状の苔を取り除いていきます。足場が濡れて、なおかつ苔で滑りやすくなっているため、慣れないうちはポリッシャーとの格闘が、優雅にダンスを踊るように扱つには、やはりそれなりのコツ

が必要で、お昼をはさんで午後から作業を再開し、どうにかきれいになってきたら、いよいよ仕上げです。消火栓から水を引いて残った汚れを勢いよく洗い流していきます。最後に薬(病気の予防)と原塩(消毒目的)を入れて再び水を張り、鯉を池の中に戻せば作業完了です。池がきれいになって、鯉も何となく嬉しそうに泳いでいるように見えます。こうして、朝からの作業は午後3時過ぎには終了し、我々はこのミツシヨンを完了しました。みんな日に焼けて真っ赤な顔をしていました。また、この日は西5病棟の看護師さん2名が花壇の草取りに来てくれました。ありがとうございました。ありがとうございました。そして、みなさん本当にお疲れ様でした。

新任幹部挨拶

事務長 田綿 修一

みなさんはじめまして!

この4月から事務長として勤務しております田綿(たわた)と申します。出身は、茨城県水戸市です。しばらくぶりに単身赴任生活(約4年、前任地東京)から解放され、自宅から通勤できることになり、喜ぶと共に果たさなければならぬ職務の重たさに胃の痛くなる毎日(過)しています。

まず、足元を固め安定した病院経営により、医療を通じて希望と



力を地域のみなさんに提供できる病院を目指し、院長先生を先頭として頑張りたいと思っております。

お気づきの点がありましたら、お声を掛けていただけると嬉しく思っております。

総看護師長 小澤 絹恵

4月1日付で総看護師長として参りました小澤絹恵です。

霞ヶ浦医療センターに来て最初に眼に入つたものは、広大な敷地と木々、大地に根付くように広がっている建物でした。前任地の国立国際医療センター(国府台病院(千葉県))と似た風情で、高まつていた緊張感がスーッと透明になっていくようでした。院内を歩き「気持ちのよい挨拶」「行き届いた清掃」など霞ヶ浦の気質に早速触れたように思っています。

来院して下さる皆様個々に合わせた「安心・安楽・安全」な看護を行えますように努力していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

今月の一品料理

【おかひじき辛子和え】

栄養管理室

材料(4人分)
おかひじき 100g
しょうゆ 小さじ1杯半
和辛子 少々

作り方

おかひじきは根元から1cmくらい切り除き、水洗いする。



かつお節を入れても美味しいです!

沸騰した湯に塩をひとつまみ加え、を入れさつとゆでる。(約1分)
ゆで上がったたら冷水にさらし、水気を切って好みの長さにカットする。
ボールに醤油を入れ、和辛子とよく混ぜておく。
と を合わせよくあえ、器に盛り付ける。
お好みでマヨネーズ、酢みそなどで和えても、おいしくいただけます。

6月集団指導のご案内

減塩教室(第3木曜日)

午後2時から 第4会議室
18日

糖尿病教室
管理栄養士

「外食の塩分量はどのくらい?」
糖尿病教室
(第1)第4火曜日
午後3時から 第4会議室
2日

「梅雨だよ!糖尿病に注意しましょう。」
9日
内科医師

「糖尿病の薬って何があるの?インスリン注射って不安...」そんな疑問に薬剤師がお答えいたします。
16日
薬剤師

「今日の献立何にしよう?」
23日
管理栄養士

「困った時のQ&A.こんなときあなたは、どうしていますか?」
看護師

公開市民講座のお知らせ

会場/地域医療研修センター講堂
日時/6月18日 14時

「霞ヶ浦海軍病院から」

「独法霞ヶ浦医療センターへ」
・68年の歩み・

小児科 山口 真也

予約の必要はありません。お気軽にお越しください。